

平成22年度

新潟県包装研究会

- 開催日時：平成22年10月29日(金) 13:00～16:10 ●主 催：社団法人 日本包装技術協会(JPI) 関東支部
- 会 場：朱鷺^{とき}メッセ(新潟コンベンションセンター) 中会議室201(新潟市)

当会では、会員サービスの一環として、年1回、新潟県にて包装研究会を開催しており、毎年地元の会員企業を中心に多くの方にお集まり頂き、好評頂いております。

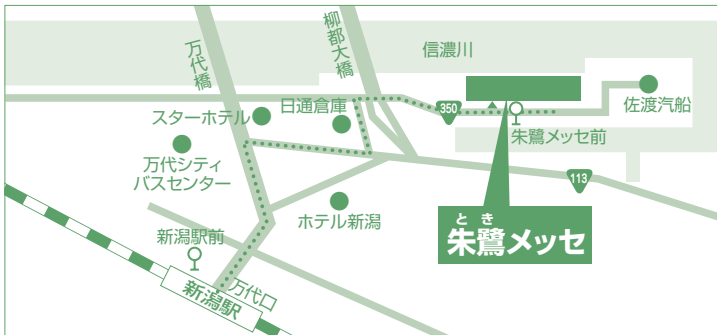
本年度のプログラムでは、カーボンフットプリントの現状とバイオプラスチックの応用事例紹介の2講演で開催させていただきますことになりました。この機会に、是非奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

講演プログラム

時間	講演内容
13:00 14:30	<p>テ ー マ：『カーボンフットプリント制度の概要について』</p> <p>講 師：みずほ情報総研 株式会社 環境・資源エネルギー部 次長 加地 靖 氏</p> <p>講演内容：商品・サービスにCO₂排出量を表示するカーボンフットプリント制度について、我が国では平成21年3月に策定・公開された「カーボンフットプリント制度の在り方(指針)」や「商品種別算定基準(PCR)策定基準」等に基づき、同年4月より試行事業が実施されている。本講演では、これまで実施されてきた試行事業の内容と、平成22年度7月に改訂された新ルールの概要について紹介する。</p>
14:40 16:10	<p>テ ー マ：『バイオプラスチックの食品容器への応用の現状と今後の展開』</p> <p>講 師：リスパック 株式会社 技術開発本部 技術開発部 主任 水谷 善教 氏</p> <p>講演内容：これまで食品容器に求められていたことは、「機能性」「デザイン」「コスト」であったが、近年要求が増えてきたのが「環境適性」である。食品容器の薄肉化、軽量化、リサイクルなどの省資源化に加え、バイオプラスチックを使用した食品容器商品化への期待が高まっている。リスパック(株)では、2003年より日本初となるポリ乳酸製食品容器の販売を開始しているが、本講演ではポリ乳酸の物性・成形方法及び使用事例を述べるとともに、開発背景と今後の展開について紹介する。</p>

開催要領

- 日 時：平成22年10月29日(金) 13:00～16:10
- 会 場：朱鷺(とき)メッセ 中会議室201
- 参加料：(社)日本包装技術協会の会員の方：無料
(社)新潟県食品産業協会の会員の方：無料
一般の方：一講演につき3,150円(税込)
- 定 員：80名
下記申込書に記入いただきFAXにてお送り下さい。
お断りする場合のみご連絡します。
当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



お問合せ・お申込み先

社団法人 日本包装技術協会 関東支部 新潟県包装研究会係 担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03-3543-1189・FAX. 03-3543-8970
e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成22年度新潟県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

平成22年度新潟県包装研究会 申込み用紙 担当:竹内(FAX.03-3543-8970) No.

会社名					
所在地	(〒)				
電 話				FAX	
参加者	氏名	所属 役職		e-mail	
	氏名	所属 役職		e-mail	
	氏名	所属 役職		e-mail	
(該当する方に○をつけて下さい)					
(社)日本包装技術協会会員 ・ (社)新潟県食品産業協会会員 ・ 一般					